

「美しい花を扱って、お客さまが喜んでくれるのが何よりうれしいです」と話す横田社長



「売上の柱」として家業の屋台骨を支えるまでに育ったが、コロナで「家族葬」が定番になり、大きな祭壇を飾ったり、供花にしたりする生花の需要が減った。「だからと言ってコロナの影響が収まるまで何もせず耐える、というのも違うと思いました。こんな時だからこそ、攻めたいな」と。

2021年12月、思いきって「近江町花屋 凛華」を開店した。

廃棄せずに売り切る

もちろん、迷いが無かったわけでは



ヨコタ  
フローリスト  
(金沢市)

コロナ禍で苦境に立つ事業者は数多ある。一方で、逆境に強い経営体質に生まれ変わった企業も多い。生花販売のヨコタフローリスト(金沢市)もその一つだ。取引の中心だった葬儀花の需要が激減、新たな販路確保のため小売り強化へ舵を切り、近江町市場に構えた新店舗で花のある暮らしの魅力を提案している。

コロナで業態転換  
小売り強化に活路

一般葬から家族葬へ

「一般葬が家族葬へ切り替わり、目に見えて売上も減少していったんです。以前から葬儀花の需要は先細りするとは言われていましたが、コロナになってももの2〜3カ月で注文が激減してしまいました」。こう振り返るのは、横田恭一社長(46)だ。

私たちの生活を一変させた新型コロナ。「三密」を避ける感染防止対策は、生前の故人を偲ぶために多くの参列者が集う「一般葬」を、少人数で見送る「家族葬」に変えた。

「お稽古花」が主流

先代である父が1968(昭和43)年に創業、一般客に加え、長らく華道や茶道教室から「お稽古花」の注文があった。「継ぐからにはもっと事業を成

ない。ただ、コロナ後を見据えて事業転換を図ろうと一歩を踏み出したのは、石川県信用保証協会の支えが大きかったと横田社長は言う。「中小企業診断士の古賀大介さんを紹介していただき、親身に相談に乗ってもらえたのは、とても心強かったです。以前は多品種をストックしたいとの思いから、売れ行きに関係なく花を仕入れていました。今は先生のアドバイスを生かし、どの時間帯に、どんな花が、どんな年齢層に売れるのかを把握し、適切な仕入れを行うようにしています。採算がとれなくても、売り切る意識が芽生えました」

家庭円満導く一輪の花

「凛華」では、パツク花や仏花、鉢類はもちろん、予算に応じた花束、オアシスを使ったアレンジメントから

開業祝いなどに贈るスタンド花まで、常時50種類を用意して来店客のあらゆるニーズに

応える。店先に見頃を迎えた色とりどりの花々が100円台から並ぶのも、



予算に応じた花束は来店客からも好評

「市民の台所」ならではの。通りを歩き交う主婦が、思わず手に取ってしまうのも納得だ。厳しい主婦の目に鍛えられながら、少しずつ固定客も増え始めた。今後は後進の育成に力を入れながら、新たな販路開拓へも意欲をみせる。横田社長には、夢がある。それは、一輪でもいいから家庭に花を飾る文化を定着させること。そして「男性にこそ、一輪の花を買って帰ることを習慣にしてほしい」と力を込める。「ご主人から花を贈られて、喜ばない奥さんはいないと思うんです。それが毎日続くと家のあちこちに花が飾られるし、家族の笑顔もあふれて家庭円満になる。そういう家庭が一つでも増えていたら、その地域が明るくなっていくと信じています。一輪の花を通して、笑顔の花を咲かせるお手伝いをしていきたいですね」

そのお悩み、相談してみませんか？

石川県信用保証協会では、事業者の皆様の課題解決に向けて専門家を無料で派遣しています。ぜひ一度、ご連絡ください。

あなたに寄り添う.....

石川県信用保証協会 Tel. 076-222-1550 石川県信用保証協会 検索



株式会社 ヨコタフローリスト

近江町花屋 凛華  
金沢市青草町88 近江町いちば館1F  
電話 076(204)8470  
営/9:00~16:00  
休/日曜・祝日

本店  
金沢市横山町3-22  
電話 076(263)5924  
営/9:00~19:00  
休/年中無休